

## **第2章 健康に関する概況**

## 第2章 健康に関する概況

### 1. 健康に関する概況

#### (1)人口構成

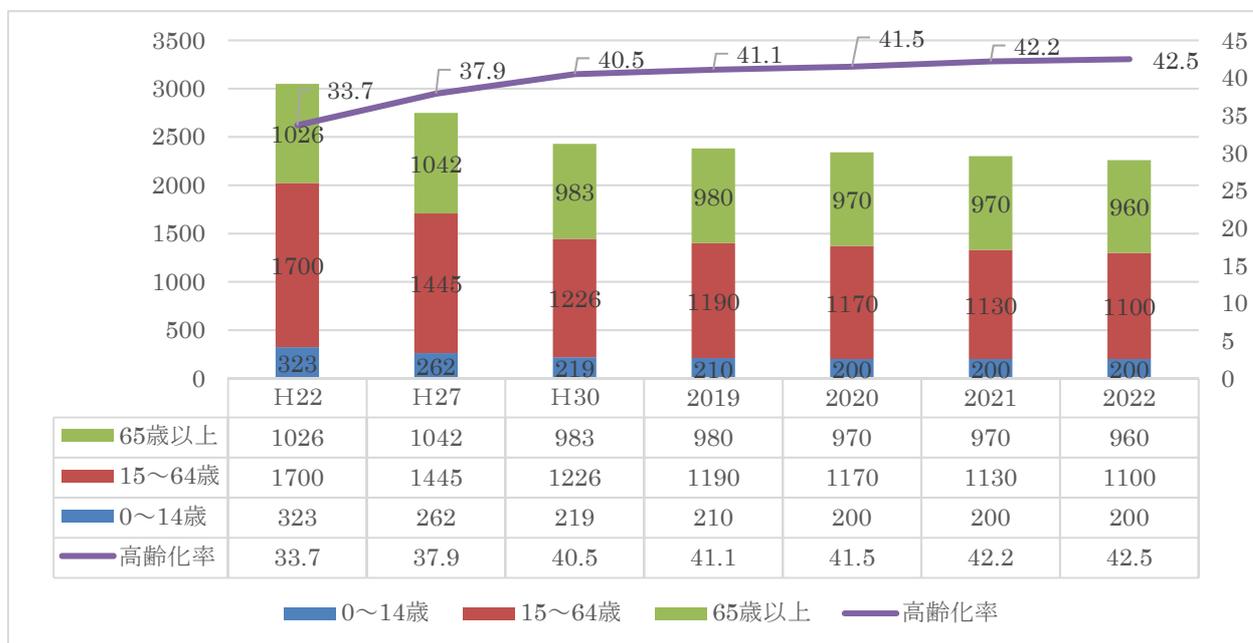
##### ①人口構成と将来推計

雨竜町の人口のピークは昭和31年の7,390人でした。その後昭和50年までの20年間で、2,900人が急速に減少し、平成12年の国勢調査では3,316人とピーク時の半数となりました。その後も減少が続き、平成27年国勢調査では2,749人となっています。

人口構成は、年少人口（0～14歳）262人・9.5%、生産人口（15～64歳）1,445人・55.7%であり、平成22年の国勢調査に比べると、それぞれ1.1%、3.1%少なくなっています。

老年人口（65歳以上）は1,042人、37.9%であり、5年前から4.2%増えました。後期高齢者率（人口に占める75歳以上の割合）は23.0%、5年前から3.5%の増加となっています。2025年問題といわれる団塊の世代の方の高齢化に関しては、人口が急激に減少した時代に転出した人が多い状況ですが、今後も人口の減少に伴い高齢化率が高くなることが予測されます。

図1 人口構成の推移と推計



平成22.27は国政調査値、平成30は10月1日住基、2019以降は独自推計  
 ※雨竜町長期人口ビジョンの社人研推計準拠では、2040年に生産人口と老年人口がほぼ同数となる推計となっている。

## ②世帯構成（65歳以上）

世帯構成割合をみると、同居世帯は年々減少し、高齢者のみ世帯は20年前の2倍、独居世帯は7.7%から17.9%と増えています。子ども達が近くにいない世帯が多く、老老介護、認認介護の相談も多くなってきています。

表1 世帯構成(65歳以上)

	同居	高齢者のみ	独居
平成5年	68.7%	23.6%	7.7%
平成10年	61.3%	27.7%	11.0%
平成20年	42.8%	42.8%	14.4%
平成30年	33.6%	48.5%	17.9%

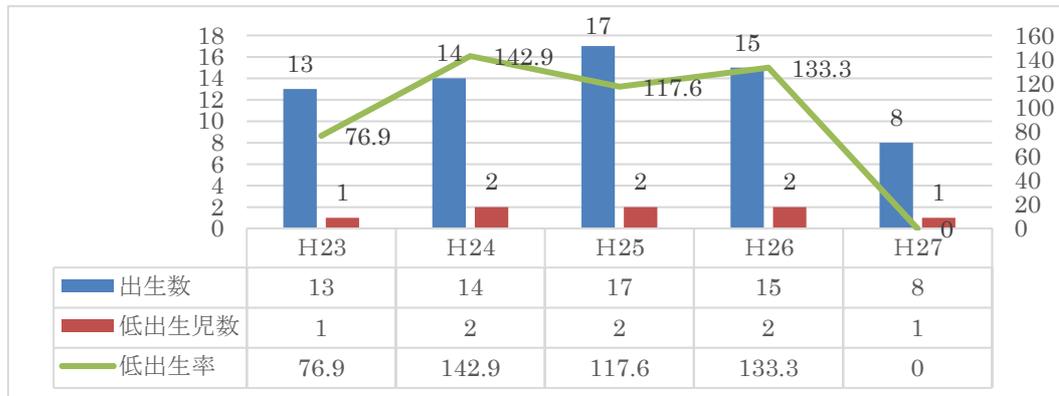
雨竜町在宅高齢者実態調査

## (2)出生・死亡の状況

### ①出生

雨竜町の出生率は、平成27年は2.9で、全国8.0、全道6.8より低い状況です。出生時2500g未満の低出生数の発生率は100を超える数字となっています。

図2 出生数及び出生時の体重が2500g未満の割合(千対)



北海道保健統計年報

### ②死亡

雨竜町の平成27年の平均寿命は、男性は82.47歳、女性は87.05歳で、男性は全国、全道より長く、女性は同程度です。また、健康寿命は、男性80.72歳、女性83.89歳であり、不健康な期間は男性1.75歳、女性3.16歳です。

表2 平均寿命/健康寿命

区分	雨竜町	北海道	全国
男性	82.47/80.72歳	80.24/70.42(平成22年)	80.75/
女性	87.05/83.89歳	86.74/73.62(平成22年)	86.99/

雨竜町数値は北海道健康増進計画資料の市町村別平均寿命  
北海道、全国数値は平成27年北海道保健統計年報

雨竜町の死亡数は、年間 30～50 人でありその内の 65 歳以上死亡割合は 88%以上です。(75 歳以上の死亡 78.1% : 29 年)。平成 28 年は 44 人の死亡のうち、65 歳未満（早世予防からみた死亡数）は 5 人（11.45%）でした。全国 10.7%、全道 11.2%であり、同程度でした。

死因分類では平成 27 年は心疾患、肺炎、老衰の率が全国、全道より高くなっています。過去 3 年間の総数では 1 位悪性新生物、2 位肺炎、3 位心疾患、4 位老衰となっています。

表 3 死亡数・率

		死亡総数	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	自殺
全 国	H27	1,290,444	1,956	370,346	13,327	196,113	111,973	120,953	84,810	23,152
	率	1029.7	1.6	295.5	10.6	156.5	89.4	96.5	67.7	18.5
全 道	H27	60,667	47	19,098	698	9,156	4,875	5,641	3,034	1,045
	率	1131.8	0.9	356.3	13.0	170.8	91.0	105.2	56.6	19.5
雨 竜 町	H27	41	-	8	-	8	2	3	5	2
	率	1496.9	-	292.1	-	292.1	73.0	109.5	182.5	73.0
	H26	51	-	4	-	1	-	10	2	-
	H25	35	-	3	1	1	1	2	1	1

北海道保健統計年報 率:人口 10 万対

### (3)医療費の状況

#### ① 国民健康保険

雨竜町の平成 29 年度国民健康保険被保険者数は 881 人（31.5%）であり、年々減少しています。

平成 29 年度（3 月～2 月診療分）の雨竜町の 1 人当たりの医療費は 44 万 7 千円であり、全道（39 万 5 千円）と比べると明らかに高い値です。（図 3）

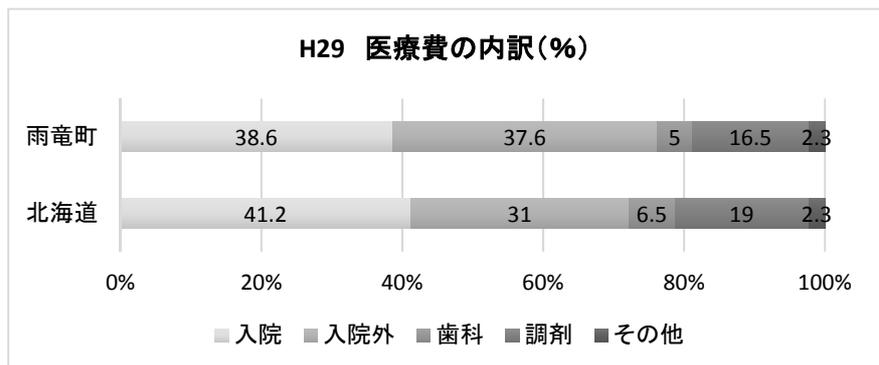
医療費の内訳は、ほぼ同%となっています。（図 4）

図 3 国民健康保険一人あたりの医療費（一般+退職）



国保中央会医療費データ・空知中部広域連合医療費動向

図 4 医療費内訳 (H29)



患者千人当たりの生活習慣病数では、高血圧、脂質異常が全道、全国より高い数字です。

表4 平成29年患者千人当たり生活習慣病患者数（左から多い順、有病）

	高血圧	筋骨格	脂質異常	糖尿病	精神	がん	高尿酸血症	狭心症	脂肪肝
雨竜町	437.3	410.1	401.1	237.9	176.0	103.6	69.1	64.9	50.2
北海道	405.8	408.9	348.0	234.6	194.4	109.8	68.9	80.8	50.0
国	397.8	383.9	340.5	213.4	165.7	97.3	72.5	66.8	44.3

KDB医療費分析

表5 主要疾患の有病状況（平成28:介護認定者分）

	糖尿病	高血圧症	脂質異常	心臓病	脳疾患	がん	筋骨格	精神(認知症含)
雨竜町	25.2	65.4	33.8	70.0	25.3	12.6	56.5	52.5
北海道	25.0	51.7	30.7	57.9	24.6	11.6	51.4	36.9
国	22.1	50.9	28.4	58.0	25.5	10.3	50.3	35.2

KDB地域全体の把握

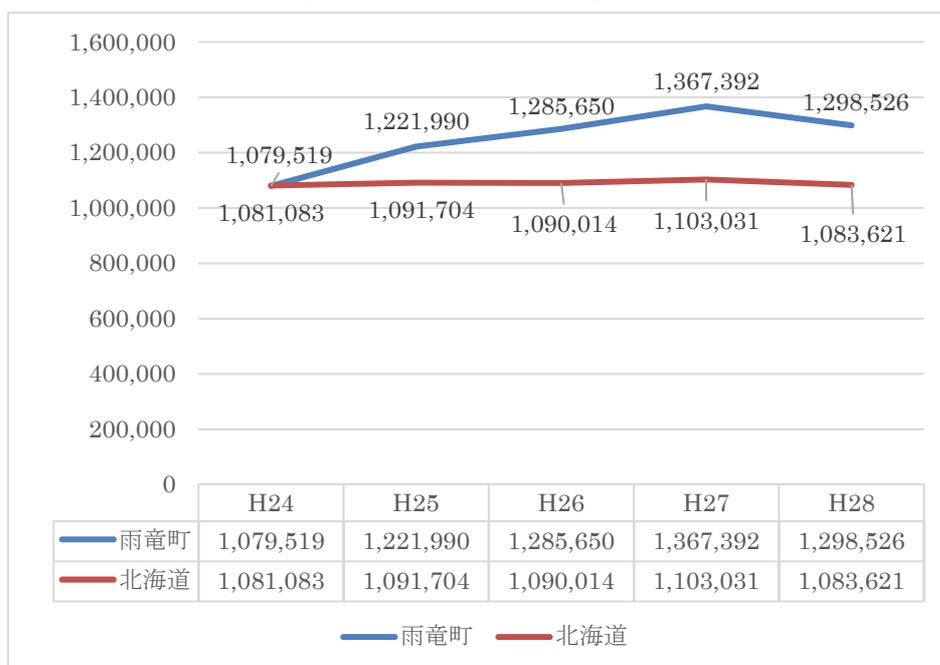
## ②後期高齢者医療保険

平成28年度における雨竜町の後期高齢者医療保険被保険者数は564人で、毎年10数人が増加したり減少したりを繰り返しています。

雨竜町の一人当たりの医療費の増減はありますが、いずれの年も全道より高くなっています。（図5）内訳では、雨竜町は入院による医療費割合が高くなっています。（図6）

また、主要な生活習慣病受診率は、高血圧性疾患以外はどの項目も全道より高い状況です。（表6）

図5 後期高齢者医療費 1人当たりの医療費の推移



北海道後期高齢者医療事業概要

図6 医療費の内訳

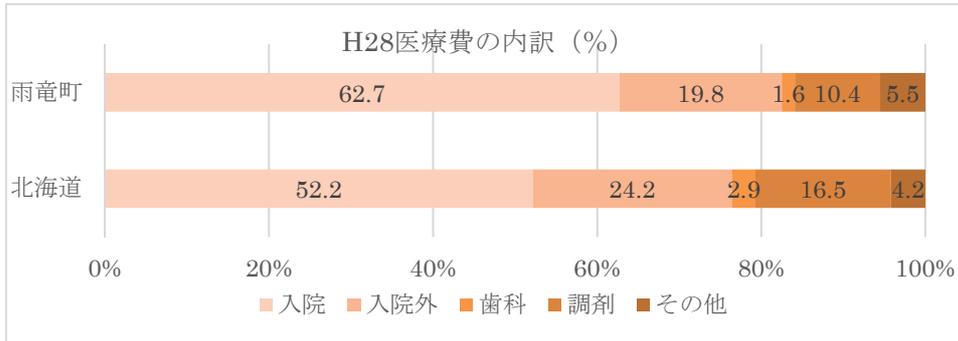


表6 主要な生活習慣病受診率 (H29年5月診療分) (受診率: 被保険者100人当たりの診療件数)

	高血圧性疾患	糖尿病	その他内分泌、栄養及び代謝疾患	脳梗塞	虚血性心疾患	腎不全
雨竜町	23.18	7.45	6.36	5.64	3.27	1.27
北海道	27.29	7.00	5.40	4.23	3.29	0.83

#### (4)介護保険の状況

平成29年度における雨竜町の要介護(支援)認定率は、第1号被保険者(65歳以上)16.2%及び第2号被保険者(40~64歳)0.1%ともに、全国・全道平均より低くなっています。また、第1号被保険者の1件当たり介護給付費は、全国・全道平均より高い状況です。(表7)

表7 介護保険の状況

区分	全国		北海道		雨竜町	
	認定者数	率	認定者数	率	認定者数	率
認定者総数	6,412,760人		321,893人		166	
第1号被保険者	6,282,408人	18.8%	316,157人	20.4%	165	16.2%
再) 75歳以上 (%)	5,545,085人		277,290人		157	
再) 65-74歳 (%)	737,323人		38,867人		8	
第2号被保険者	130,352人	0.4%	5,736人	0.4%	1	0.1%
給付費(第1号被保険者)	61千円		62千円		97千円	
居宅サービス	42千円		42千円		40千円	
施設サービス	284千円		284千円		255千円	
第6期保険料	5,869円		5,617円		5,200円	

介護保険事業状況報告H30年3月末現在・KDB地域の全体像の把握

雨竜町の第1号被保険者の要介護(支援)認定者数の推移は、平成24年度と比較しても、ほぼ同数となっています。(表8) 第2号被保険者の要介護(支援)認定者数は、平成25、28年度が2人と最も多く、平成29年度は1人となっています。

表8 第1号被保険者の要介護（支援）認定者数（率）の推移

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
要支援1(人)	18	14	7	8	6	5
要支援2(人)	8	13	8	5	8	14
要介護1(人)	27	33	31	28	38	35
要介護2(人)	41	32	44	47	40	44
要介護3(人)	35	38	33	34	32	34
要介護4(人)	23	26	25	27	26	21
要介護5(人)	14	16	17	15	14	12
合計(%)	17.38	17.99	17.15	17.12	16.87	16.87
合計(人)	166	172	165	164	164	165

共に支え合う高齢社会の介護保険広域運営

平成29年度の第1号被保険者の要介護（支援）認定者の原因疾患で最も多かったのは認知症で、2位が転倒・骨折、脳卒中、4位が関節疾患となっています。（表9）

表9 認定者の原因疾患

第1号被保険者	原因疾患名など	割合
第1位	認知症	45.0%
第2位	転倒・骨折	11.9%
第2位	脳卒中	11.9%
第4位	関節疾患	10.1%

※割合は第1号被保険者の認定者に占める割合 平成29年度 空知中部広域連合調べ